

2019年度 第3四半期報告の概要

2020年2月14日
明治安田生命保険相互会社

I. 2019年度第3四半期報告のポイント

1 グループ・単体ともに「減収減益」、スタンコープ社を中心に海外保険事業等は引き続き高い収益性を維持

- ・保険料等収入は、外貨建て一時払保険の販売減少を主因とした明治安田生命単体の減収により、グループで2兆1,319億円と前年同期比△7.6%の減収
- ・基礎利益は、前年同期の有価証券償還益の剥落や団体保険の料率引き下げの影響等により、単体で減益となったことに伴い、グループで4,141億円と前年同期比△12.5%の減益。ただし、スタンコープ社を中心に海外保険事業等については、前年同期比7.9%の増益と、**引き続き高い収益性を維持**

2 財務基盤の強化等を通じて、高い健全性を維持

- ・ソルベンシー・マージン比率は**連結・単体ともに1,000%超え**
- ・連結では1,103.3%と前年度末差63.2ポイント増加となるなど、引き続き高い健全性を維持

3 2019年度業績見通しは、グループ・単体ともに、保険料等収入を「減収」・基礎利益を「増益」に修正（基礎利益は3年連続「過去最高益」を更新する見通し**）**

- ・保険料等収入は、外貨建て一時払保険の販売減少を主因として2019年度上半期報告時の「横ばい」から「減収」に**下方修正**
- ・基礎利益は、外債投信の分配金増加等の影響により、2019年度上半期報告時の「横ばい」から「増益」に**上方修正**。
グループ・単体ともに、**3年連続で「過去最高益」を更新する見通し**

II. 明治安田生命グループの業績

グループ保険料、グループ基礎利益、連結ソルベンシー・マージン比率

○グループ保険料は、明治安田生命単体の外貨建て一時払保険の販売減少により、2兆1,319億円と前年同期比△7.6%の減収

○グループ基礎利益は、明治安田生命単体の減益により、グループで4,141億円と前年同期比△12.5%の減益となったが、スタンコープ社が前年同期比9.1%の増益となるなど、グループで計画を上回る水準を確保しており、引き続き高い収益性を維持

○連結ソルベンシー・マージン比率は、1,103.3%と前年度末差63.2ポイントの増加

■ グループ保険料

(単位:億円)

	2019年度 第3四半期連結累計期間		2018年度 第3四半期 連結累計期間
		前年 同期比	
グループ保険料 ^(注1)	21,319	△7.6%	23,063
うち明治安田生命単体	18,959	△8.4%	20,700
うち海外保険事業等 ^(注2)	2,359	△0.1%	2,363
うちスタンコープ社	2,176	△0.1%	2,179

■ グループ基礎利益

(単位:億円)

	2019年度 第3四半期連結累計期間		2018年度 第3四半期 連結累計期間
		前年 同期比	
グループ基礎利益 ^(注3)	4,141	△12.5%	4,734
うち明治安田生命単体	3,703	△14.5%	4,330
うち海外保険事業等 ^(注2)	507	+7.9%	470
うちスタンコープ社 ^(注4)	377	+9.1%	345

■ 連結ソルベンシー・マージン比率

(単位:%)

	2019年度 第3四半期連結期間末		2018年度末
		前年度末差	
連結ソルベンシー・マージン比率	1,103.3	+63.2 ^{ポイント}	1,040.1
(参考) 明治安田生命単体	1,033.0	+49.7 ^{ポイント}	983.3

(注1) グループ保険料は連結損益計算書上の保険料等収入

(注2) 海外保険事業等は、国内生命保険事業以外の合算。なお、海外の子会社等は決算日が明治安田生命単体と3ヵ月ずれるため、第3四半期グループ業績への反映期間は1月から9月までの9ヵ月

(注3) グループ基礎利益は、明治安田生命の基礎利益に連結される子会社および子法人等ならびに持分法適用の関連法人等のキャピタル損益等を控除した税引前利益のうち明治安田生命の持分相当額を合算し、明治安田生命グループ内の内部取引の一部を相殺した数値

(注4) スタンコープ社について、財務会計の管理方法変更に伴い、2019年度より基礎利益相当額を買収会計適用後の会計ベースでの算出に変更。なお、変更後基準で算出した場合の2018年度第3四半期累計実績は364億円(グループ基礎利益合計は4,753億円)

Ⅲ. 明治安田生命単体の業績

1. 保険料等収入、新契約年換算保険料、保有契約年換算保険料

○保険料等収入は、外貨建て一時払保険の販売減少を主因として、1兆8,959億円と前年同期比△8.4%の減収

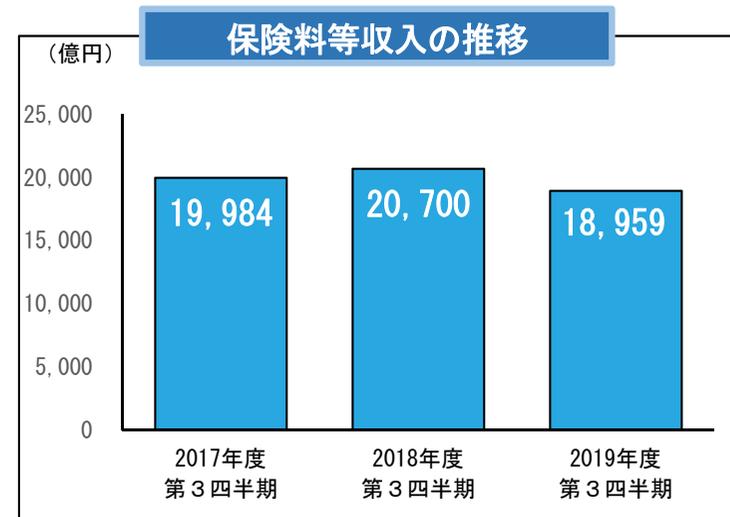
- ・営業職員チャネルのうち、平準払商品は、2019年4月に発売した「ベストスタイル 健康キャッシュバック」の貢献等により、9,245億円と前年同期比1.4%の増加

■ 保険料等収入の状況

	2019年度第3四半期累計期間	
		前年同期比
保険料等収入	18,959	△8.4%
うち個人保険・個人年金保険	12,180	△12.6%
うち営業職員チャネル	10,093	△4.8%
うち平準払保険	9,245	+1.4%
うち一時払保険	847	△42.9%
うち銀行窓販チャネル	1,808	△41.0%
うち団体保険・団体年金保険	6,496	+0.3%

(単位:億円)

2018年度第3四半期累計期間
20,700
13,940
10,599
9,116
1,483
3,063
6,477

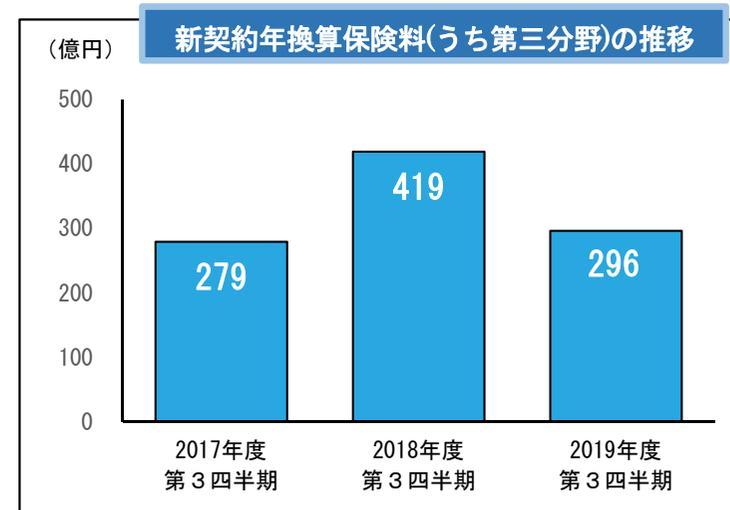


■ 新契約年換算保険料の状況 (個人保険・個人年金保険)

	2019年度第3四半期累計期間	
		前年同期比
新契約年換算保険料	760	△28.2%
うち営業職員チャネル	667	△25.2%
うち銀行窓販チャネル	78	△48.3%
うち第三分野 ^(注)	296	△29.4%

(単位:億円)

2018年度第3四半期累計期間
1,059
891
150
419



(注) 第三分野は、医療保障給付、生前給付保障給付、保険料払込免除給付等に該当する部分を計上

■ 保有契約年換算保険料の状況 (個人保険・個人年金保険)

	2019年度第3四半期会計期間末	
		前年度末比
保有契約年換算保険料	22,373	△1.3%

(単位:億円)

2018年度末
22,656

Ⅲ. 明治安田生命単体の業績

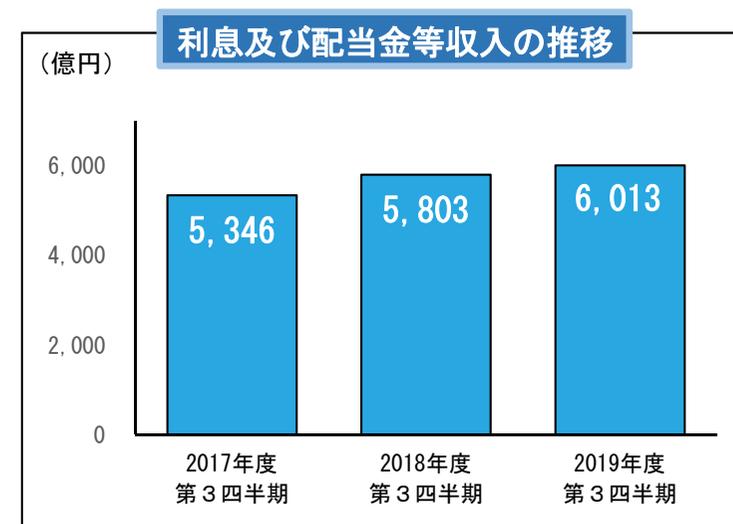
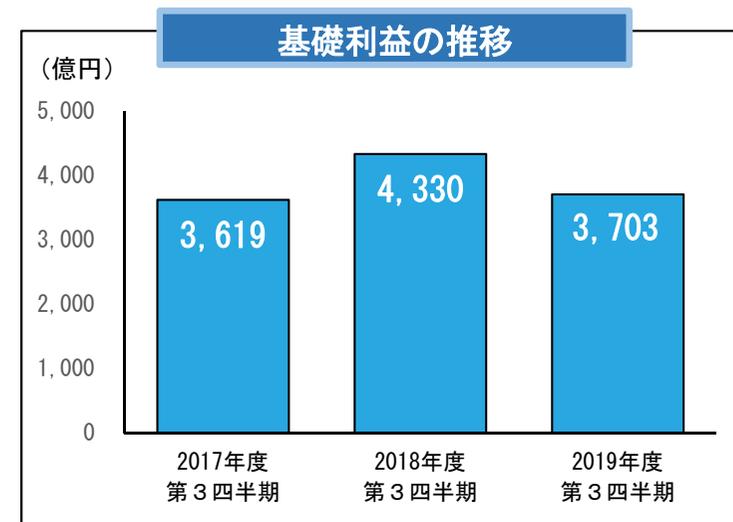
2. 基礎利益

○基礎利益は、前年同期の有価証券償還益の剥落や団体保険の料率引き下げの影響等により、3,703億円と前年同期比△14.5%の減益

■ 基礎利益等の状況

(単位:億円)

	2019年度 第3四半期累計期間		2018年度 第3四半期累計期間
		前年同期比	
基礎利益	3,703	△14.5%	4,330
うち利息及び配当金等収入	6,013	+3.6%	5,803



Ⅲ. 明治安田生命単体の業績

3. ソルベンシー・マージン比率、実質純資産額、オンバランス自己資本

○ソルベンシー・マージン比率は、1,033.0%と前年度末差49.7ポイントの増加

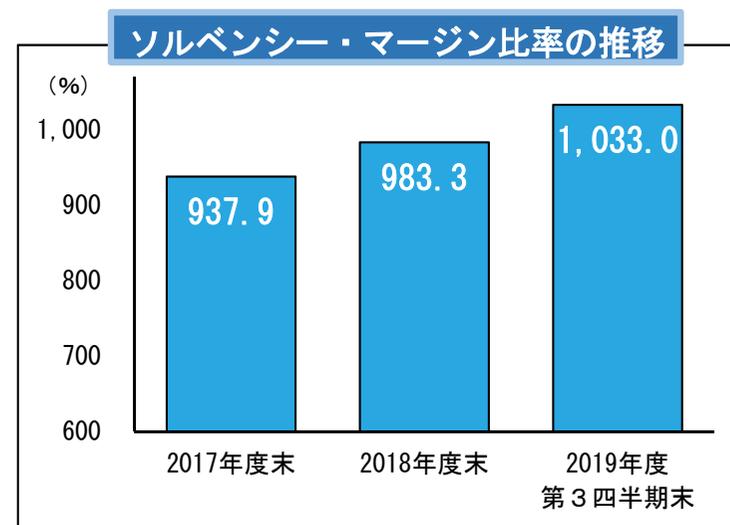
○オンバランス自己資本は、内部留保の積み増しや国内劣後債の発行等により、3兆593億円と前年度末から1,405億円増加

■ ソルベンシー・マージン比率

(単位: %、億円)

	2019年度 第3四半期会計期間末		2018年度末
		前年度末差	
ソルベンシー・マージン比率 ^(注1)	1,033.0	+49.7ポイント	983.3
ソルベンシー・マージン総額 (A)	82,061	+3,923	78,138
リスクの合計額 (B)	15,887	△4	15,891

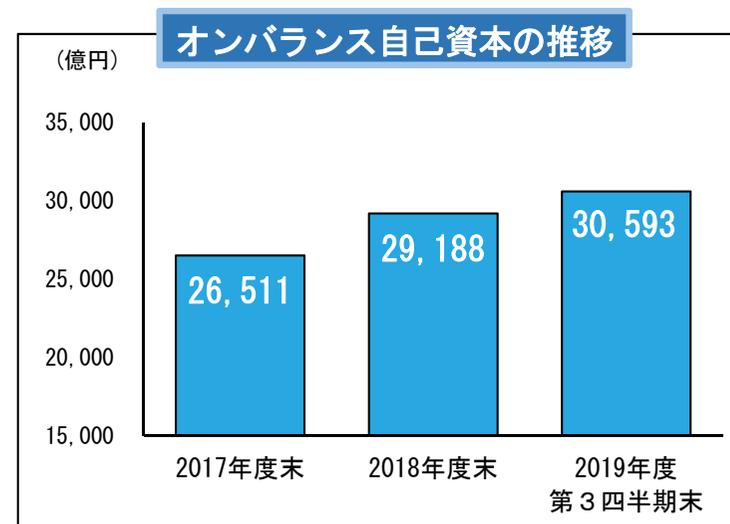
(注1) ソルベンシー・マージン比率 = (A) / (1/2 × (B)) × 100



■ 実質純資産額

(単位: 億円、%)

	2019年度 第3四半期会計期間末		2018年度末
		前年度末差	
実質純資産額	104,858	+2,927	101,930
一般勘定資産に対する比率	26.4	△0.1ポイント	26.5



■ オンバランス自己資本

(単位: 億円)

	2019年度 第3四半期会計期間末		2018年度末
		前年度末差	
オンバランス自己資本 ^(注2)	30,593	+1,405	29,188

(注2) 資本性が比較的強いと考えられる部分に限定した内部留保と外部調達資本の合計額

Ⅲ. 明治安田生命単体の業績

4. 契約クオリティ(解約・失効・減額率、総合継続率)

○総合継続率は、13月目・25月目総合継続率ともに高水準を維持

■ 解約・失効・減額率(注1)の状況(個人保険・個人年金保険) (単位:%)

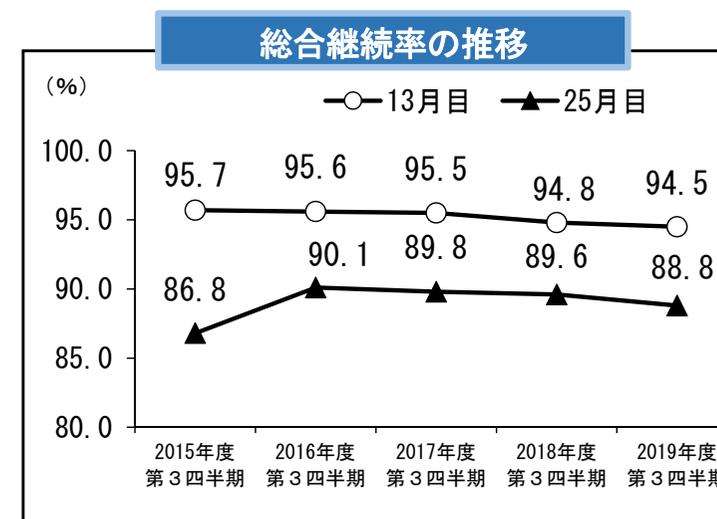
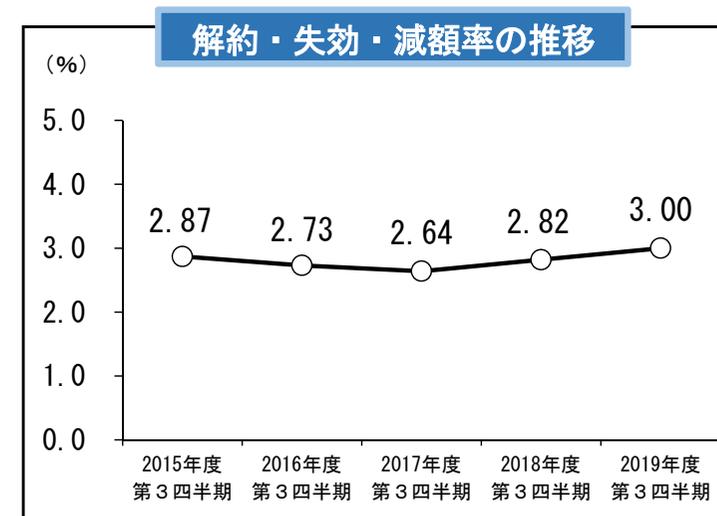
	2019年度 第3四半期累計期間		2018年度 第3四半期累計期間
		前年同期差	
解約・失効・減額率	3.00	+0.18ポイント	2.82

(注1) 年度始保有契約年換算保険料に対する解約・失効・減額年換算保険料の割合

■ 総合継続率(注2)の状況(個人保険・個人年金保険) (単位:%)

	2019年度 第3四半期累計期間		2018年度 第3四半期累計期間
		前年同期差	
13月目総合継続率	94.5	△0.3ポイント	94.8
25月目総合継続率	88.8	△0.8ポイント	89.6

(注2) 総合継続率は、契約高ベースにて算出



Ⅲ. 明治安田生命単体の業績

5. 含み損益、国内株式含み損益ゼロ水準

○一般勘定資産全体の含み損益は、6兆6,624億円（前年度末差2,874億円増加）

○時価のある有価証券の含み損益は、株価上昇による株式の含み益増加を主因として増加（前年度末差2,903億円増加）

○国内株式含み損益ゼロ水準は、TOPIXベースで680ポイント程度

■ 一般勘定資産全体の含み損益

	2019年度 第3四半期会計期間末		2018年度末
		前年度末差	
一般勘定資産全体の含み損益	66,624	+2,874	63,749
うち時価のある有価証券 ^(注1)	61,811	+2,903	58,907
うち公社債	28,114	△789	28,903
うち株式	25,683	+2,332	23,351
うち外国証券	6,988	+983	6,004
うち不動産	4,739	+27	4,711

（単位：億円）

（注1）有価証券には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含む

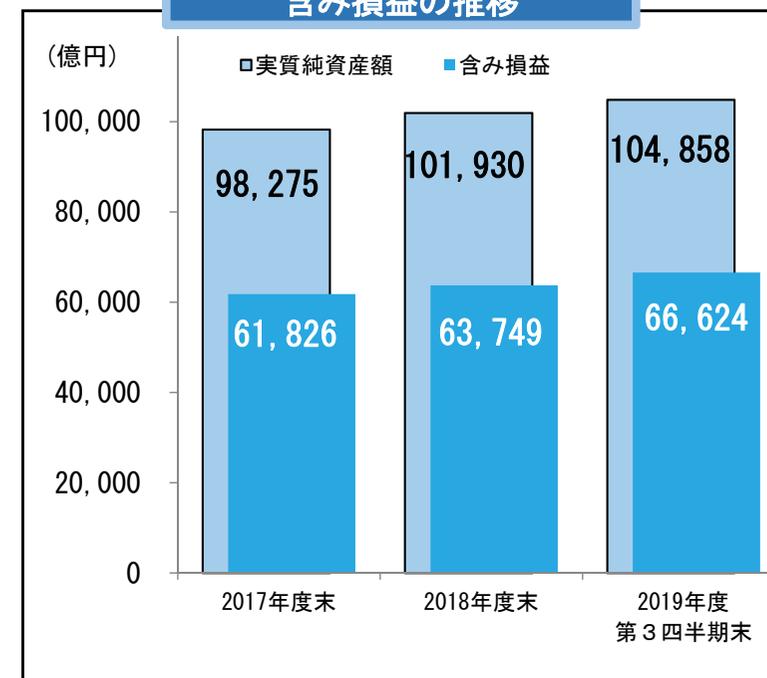
■ 国内株式含み損益ゼロ水準

仮に当社ポートフォリオがTOPIXにフル連動するとした場合

	2019年度 第3四半期会計期間末 ^(注2)	2018年度末
TOPIXベース	680ポイント程度	670ポイント程度

（注2）日経平均株価ベースでは9,300円程度

含み損益の推移



IV. スタンコープ社の業績【参考】

スタンコープ社の保険料等収入、基礎利益相当額、当期純利益

○保険料等収入は、為替の影響で円貨ベースでは2,176億円と前年並みとなるも、主力の団体保険事業が順調に推移しており、現地通貨ベースでは増収を確保（注1）

○団体保険事業の給付率の低下による利益改善を主因として、基礎利益相当額は377億円（前年同期比+9.1%）、当期純利益は243億円（前年同期比+16.7%）と、ともに大幅に増益

■ 保険料等収入、基礎利益相当額、当期純利益の状況（注2）

（単位：億円）

	2019年度 第3四半期累計期間		2018年度 第3四半期累計期間
		前年同期比	
保険料等収入	2,176	△0.1%	2,179
基礎利益相当額（注3）	377	+9.1%	345
当期純利益（注4）	243	+16.7%	208

* 2018年度第3四半期は2018年9月末の為替レート（1米ドル=113.57円）、2019年度第3四半期は2019年9月末の為替レート（1米ドル=107.92円）で円換算

（注1）現地通貨ベースでの前年同期比は保険料等収入+5.1%、基礎利益相当額+14.9%、当期純利益+22.8%

（注2）スタンコープ社は決算日が明治安田生命単体と3ヵ月ずれるため、第3四半期グループ業績への反映期間は1月から9月までの9ヵ月分

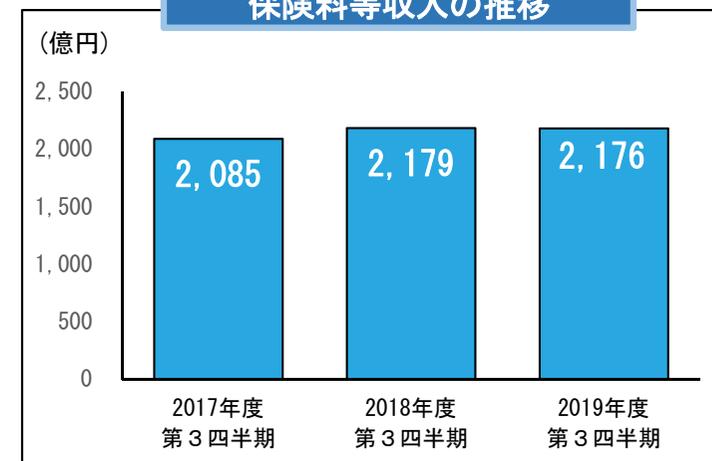
（注3）基礎利益相当額は、税引前利益からキャピタル損益や買収会計に伴う無形資産償却費用等を控除したもの（※）

（※）財務会計の管理方法変更に伴い、2019年度より買収会計適用後の会計ベースでの算出に変更

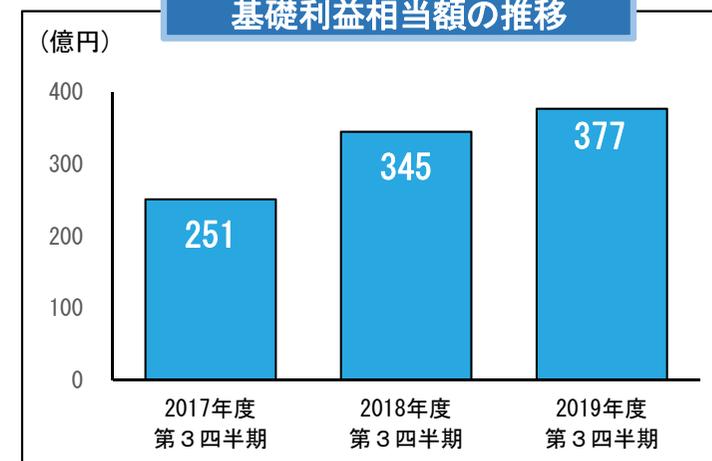
なお、変更後基準で算出した場合の2018年度第3四半期実績は364億円

（注4）買収会計適用後

保険料等収入の推移



基礎利益相当額の推移



V. 業績見通し

2019年度業績見通し

- 保険料等収入は、外貨建て一時払保険の販売減少を主因として、グループ・単体ともに「横ばい」から「減収」へ修正
- 基礎利益は、外債投信の分配金増加等の影響により、グループ・単体ともに「横ばい」から「増益」へ修正。
グループ・単体ともに、3年連続で「過去最高益」を更新する見通し

■ グループ保険料の見通し

	2019年度見通し	前年度比	2018年度実績
グループ保険料 (注1) (注3)	29,300億円程度	減少	30,813億円
うち明治安田生命単体	26,100億円程度	減少	27,708億円
うちスタンコープ社	2,900億円程度	増加	2,867億円

■ グループ基礎利益の見通し

	2019年度見通し	前年度比	2018年度実績
グループ基礎利益 (注2) (注3)	6,500億円程度	増加	6,338億円
うち明治安田生命単体	6,100億円程度	増加	5,896億円
うちスタンコープ社	470億円程度	増加	425億円

* 業績見通しは、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります

(注1) グループ保険料は連結損益計算書上の保険料等収入

(注2) グループ基礎利益は、明治安田生命の基礎利益に連結される子会社および子法人等ならびに持分法適用の関連法人等のキャピタル損益等を控除した税引前利益のうち明治安田生命の持分相当額を合算し、明治安田生命グループ内の内部取引の一部を相殺した数値(※)

(※) スタンコープ社について、財務会計の管理方法変更に伴い、2019年度より基礎利益相当額を買収会計適用後の会計ベースでの算出に変更。なお、変更後基準で算出した場合の2018年度実績は455億円(グループ基礎利益合計は6,368億円)

(注3) 業績見通しにおける想定為替レート：対米ドル107円

■ 企業価値 (EEV) の見通し

	2019年度末見通し	2019年度始
企業価値 (EEV)	年平均6%程度増加	54,263億円